



# 杉並区議会だより

【発行】杉並区議会 【編集】区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695  
<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/> 【携帯サイト】<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/>



住み慣れた地域で高齢者が安心して日常生活を営む事ができるよう、地域包括ケアシステム構築に関連する諸条例を可決しました（写真はケア24南荻窪（南荻窪2-28-13））。  
 ※ケア24は、地域で暮らす高齢者を「医療」「介護」「福祉」「保健」など様々な面から総合的に支援する地域包括支援センターで、区内に20カ所設置されています。

## 平成27年 第1回定例会

# 平成27年度予算（「少子高齢社会」へのチャレンジ予算）などを可決

第1回定例会は、2月10日に開会し3月13日までの32日間の会期で開催されました。

初日は、区長から「平成27年度予算の編成方針とその概要」の説明がありました。これを受け、12日に会派の代表4名が質問（代表質問）を行いました。

13日・16日には、11名の議員が区政一般について質問（一般質問）を行いました。

17日は、区長から提案された条例案・27年度予算案等議案計35件が上程され、提案説明を受けた後、15件を関係する常任委員会に付託するとともに、予算等については、予算特別委員会を設置して審査することを決定し、関連議案を含め19件を付託しました。委員会付託を省略した、人権擁護委員候補者の推薦1件は原案どおり可決しました。また、損害賠償額決定の専決処分報告1件を聴取しました。その後、議員提出議案1件が上程され、提案説明の後、議会運営委員会に付託しました。

17日の本会議終了後に予算特別委員会を開会し、井口かづ子委員長、山本ひろこ副委員長を互選しました。

18日・26日は、各常任・特別委員会が開かれ、条例案などの議案審査を行いました。

27年度予算案等の議案審査は、2月27日から3月12日までの予算特別委員会で行われました。

3月12日には、区長から追加提案された議案1件が上程され、提案説明を受けた後、予算特別委員会に付託し、審査を行いました。その後、27年度予算案等について、各会派から意見の発表がありました。

最終日13日の本会議では、各常任委員会委員長等から議案等の審査経過が報告され、35件の区長提出議案と1件の議員提出議案は、原案どおり可決しました。その後、区長から「教育長の任命の同意について」が提案され、提案説明・質疑応答の後、原案に同意し、第1回定例会を閉会しました（審議の結果は8面をご覧ください）。

## 区議会の傍聴にお越しください

本会議や委員会は、定員の範囲内でなたでも傍聴できます。

会議の当日、区議会事務局（区役所中棟3階）でお申し込みください。受け付けは開会時間の15分前からです。

手話通訳を希望する方は、傍聴希望日の4日前までにお申し込みください。

また、一時保育を希望する方は、傍聴希望日の7日前までにお申し込みください（おおむね6カ月から就学前のお子さんが対象。費用は無料。申込順で1日の定員は4名）。

議会の日程等は区議会事務局へお問い合わせください。

議会日誌	議会日程
19日（1月）	文化芸術・スポーツに関する特別委員会（視察）
23日	道路交通対策特別委員会（視察）
30日	議会運営委員会
2日（2月）	議会運営委員会
10日	議会運営委員会
12日	議会運営委員会
13日	議会運営委員会
27日（3月）	議会改革特別委員会
2日（6日）	予算特別委員会
9日・10日	予算特別委員会
12日	議会運営委員会
13日	議会運営委員会
28日（4月）	議会運営委員会

# 代表質問

2月12日に会派の代表4名が区長の予算編成方針について質問しました。その要旨をお知らせします。



富本 卓

景気回復を確かなものに。安全・安心を実感できるものに。

杉並区議会自由民主党

**問** 区の財政運営は、今後も増え続けると予想される社会保障費等を考えると、長期的な財政情勢をしっかりと捉えた慎重な運営が求められると考える。

**答** 不断の行財政改革に取り組み等、慎重な財政運営に努める。



**問** 「安全・安心を実感できるまちづくり」施策について、区民が「実感できる」には「成果を区民に見てもらおう、感じてもらうこと」だと考える。「実感」という言葉に込められた意味は。

**答** ご指摘のとおり、事業の成果を目に見える形で表すことであり、確実に成果を上げていきたいとの思いを込めている。

**問** 荻窪周辺のまちづくり方針検討の際は、中央線と青梅街道に囲まれたエリアを念頭に、駅北口の大規模商業施設の更新時期も見据え、優先順位を決めて取り組むべき。

**答** 地域が描くまちの将来像を踏まえ、地区の特性を考慮し、変化に機敏に対応できる方針の策定を進める。

**問** 空き家対策特別措置法の公布で、保安上著しく危険な空き家の行政代執行が可能になった。区の空き家の状況と今後の対応は。また、ごみ屋敷への対応は。

**答** 区内に約400件の空き家がある。国のガイドラインを踏まえ、法を活用した対策に取り組む。ごみ屋敷の対応は、所有者への指導や、清掃部門等も動員した緊急対応等を行っている。

**問** 東京オリンピック・パラリンピックに「参加したい、関わりたい」という区民の強い希望がある。観光といった側面的な取組だけでなく、直接的に関わる観点での取組を求める。

**答** 区民の思いや力をどう生かしていくか様々な可能性を探る。

**問** 杉並区議会スポーツ振興議員連盟が要望した、ビーチバレーコートへの設置に向けた準備は。

**答** 区がオリンピック・パラリンピックにかかわっていく上で様々な可能性がある中で、この取組の準備を進めていく。



川原口宏之

活気ある温かな地域づくりをめざして

杉並区議会公明党

**問** 現政権が国民の信任を得たことで、今後しばらくは政治の安定が続くと確信しているが、「政治の安定」について認識は。

**答** 政策運営を安定的に進めることができると受け止めている。景気回復、人口減少、少子高齢化等の課題に対し、様々な意見に耳を傾け、議論を重ね、合意形成していく努力と取組が大切。

**問** 基本構想実現に向けた第一段階であるこれまでの3年間でどのように総括しているのか。

**答** 防災・減災対策の強化、多型まちづくり、保育園待機児解消対策等、着実に成果をあげているが、建築物の耐震・不燃化率や特養の定員確保等、目標値を下回る見込みの施策もある。

**問** 「財政のダム」構築に向けた区の考え方が示されてきたが、今後の目標と取組方針は。

**答** まず積立基金全体の残高を標準財政規模の5割を目指し、財政状況を勘案しながら、基金の積み立てに努めていく。

**問** がん検診の質の向上を図るのとことだが、具体的な施策は。

**答** 健診結果が確実に早期発見・治療に繋がるか検証が重要。26年度から検証に必要なデータ集積体制を整えた。今後はデータを活用し、質の向上を目指す。

**問** ひとり暮らし高齢者に対するあいのネットワーク事業（地域の目）を拡充するとの考えを評価するが、現状と今後の拡充策は。

**答** 高齢者への声かけや見守りを行う協力員は現在583名、協力機関は30団体。地域包括ケアシステムの視点に立った重層的な見守りを進めていく。

**問** 予算編成方針には、認知症高齢者や家族への支援はあるが、若年性認知症施策の区の考えは。

**答** 相談窓口の連携を強化し、介護保険サービスの利用だけでなく、生活面や経済的な相談に寄り添った支援を行う。



小川宗次郎

少子高齢社会に向けた新年度予算について区長の決意を問う

民主・市民クラブ

**問** 少子高齢社会への挑戦で、人口減少に歯止めをかけるための具体的な対策と取組姿勢は。

**答** 一定の人口維持には、出生率を上げ、自ら人口を増やす力を高めていく必要がある。子育て環境の一層の整備に努める。

**問** 都市部では、今後、高齢者の絶対数が飛躍的に増加すると指摘され、医療・介護施設の担い手確保が課題。区の取組は。

**答** 特養等の施設開設に際し、職員募集や研修経費の助成等の支援に加え、今後は職員の住宅確保経費の助成等の支援を行う。

**問** 予算編成にあたり、社会、経済や日本の現状をどう捉え、編成を行ったのか。また、当面の財政状況と今後の見通しは。

**答** 人口減少、少子高齢社会を自らの問題と捉え、取組を加速化していかなければならない。様々な課題を解決するための予算編成を行った。一定の増収もあるが、厳しさが増すと見込む。

**問** 安全・安心に向けた、防犯カメラの設置普及活動には、民間の防犯カメラ促進団体との更なる連携が重要と考える。

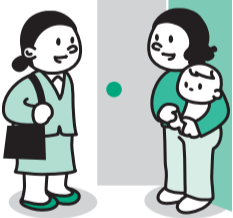
**答** 関係団体と連携を図り、防犯力の高いまちづくりを進める。

**問** 地域包括ケアシステム構築を進める中で、高齢者が在宅生活を続けられることが望ましい。特養整備を進めるのか。

**答** 在宅生活が困難になった場合、身体や所得等に応じた住まいや施設が整っていることが重要。在宅生活とのバランスを考えた住まいの選択肢を広げていく。

**問** 27年度からの第6期介護保険事業計画は、どのような考えに重点を置いて策定したのか。

**答** 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指した計画策定に取り組んだ。



悪政の「防波堤」となって、くらしと安全を守る政治を

日本共産党杉並区議団



くすなま美紀

**問** 区民のくらしに深刻な影響を及ぼす消費税10%増税や社会保障改悪について、国に中止を求めたい。区長の見解を問う。

**答** 国民の将来不安の解消を図るためにも必要な政策。中止を求める考えはない。

**問** あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等の財産交換について、正式決定したかのように進めている区長の姿勢に批判が続出している。区長の見解はどうか。

**答** 計画の具体化にあたっては、区議会に進捗状況を報告し、区民に丁寧に説明し、意見を聞きながら進めていく。

**問** 今後の認可保育所増設計画と、今年4月の緊急の保育定員増について対応を問う。

**答** 27年度1000人を超える新たな保育定員確保を計画している。今年4月については、既存の認可保育所等の定員弾力化などできる限りの対応を図る。

**問** 国の介護報酬削減は、区内の特養ホームなどの経営を悪化させるだけでなく、介護難民を増加させかねない。区の認識と対応について問う。

**答** 国において各事業者団体等とのヒアリングなどに基づき、十分な審議が行われ、適正な改定が行われるものと考えている。

**問** 国民健康保険料負担軽減のために、国や都に財政負担を求めたい。

**答** 国への要望は考えていないが、都へは、昨年特別区長会として財源支援策を求めている。

**問** 障害者や高齢者が安心して移動・生活できるバリアフリーのまちづくりを加速すべき。

**答** バリアフリー推進連絡会などを通じて、関係事業者や区民の協力を得ながら進めていく。

**問** 区内土建組合が行った調査で、設計労務単価の半分ほどしか建設産業の現場労働者に賃金が落ちていない実態が示された。公契約条例の制定に進むべきだが、見解を求めたい。

**答** 区の要綱に基づき、下請関係の把握や関係法令の遵守、適正な労働環境での履行を受託者に求め、指導に努める。

**問** 建物の耐震化促進のため、財政支援の拡充とともに、建設事業者の協力を得て、助成制度の普及なども進めるべき。

**答** 職員が積極的に地域に入り、建築士などのアドバイザー派遣制度の活用を促すなど、補強工事や建て替えに結び付けていく。



はじめに

主要な施策の展開

区長の予算編成方針（抜粋）

日本の少子高齢化は、歴史上例を見ない速さで進行しており、これに的確に対応していかなければ、杉並の末永い発展は望めません。少子化に歯止めをかけるとともに、誰もが安心して生き生きと暮らせる活力ある社会をつくるためには、子育て支援、医療、介護はもとより、雇用、若い世代への支援、バリアフリーを含めた住環境整備など様々な分野について、地方とも連携し、果敢に取り組んでいく必要があると考え、平成27年度予算を「少子高齢社会」へのチャレンジ予算」と名付けました。

**予算編成の基本的考え方**

第一に、平成27年度は、総合計画の第2段階の初年度となる大事な年であることから、改定した総合計画、実行計画に基づき、基本構想が掲げる将来像の実現に向けた取組を加速化させる予算編成としました。

第二に、「まち・ひと・しごと創生法」の成立を踏まえ、新たな広域連携の取組を地方創生に向けた自治体連携の取組に発展させ、地方とも連携し、活力ある地域社会の構築に向けた予算としました。

第三に、基本構想実現のためには、区民と区とが、支えあい、共につくる地域社会を築いていくことが必要であることから、協働推進計画事業に十分意を用いて予算に反映させました。

第四に、最少の経費で最大の効果を上げるよう効率的な財政運営に努める予算としました。

最後に厳しい財政状況の中でも、財政の健全性を確保し、持続可能な財政運営に努めます。

平成27年度予算の概要

（一般会計）  
 予算規模は1649億7200万円、前年度比38億2200万円、2.4%の増です。

（特別会計）

国民健康保険事業会計は保険給付費や共同事業拠出金等の増に伴い、会計規模は前年度比19.0%の増、介護保険事業会計は、第6期介護保険事業計画の最初の年に合わせ要介護等認定者の増を見込んだものの、介護報酬の引き下げ等により、1.8%の減、後期高齢者医療事業会計は、広域連合納付金等の増により、1.6%の増、中小企業勤労者福祉事業会計は、準備費の減などにより、13.8%の減を見込んでいます。

終わりに

私たちは、人口減少、少子高齢社会への対応という歴史上、経験したことのない重い課題がつきつけられています。それに立ち向かうチャレンジは未知への挑戦というべきものですが、議員各位・区民と手を携え、全力を尽くしてまいります。

※7面に概要を掲載しています。

本会議、予算・決算特別委員会の録画映像をご覧ください

区議会ホームページで、本会議、予算・決算特別委員会の録画映像を配信しています。会議終了から、おおむね24時間後に速報版として、また、おおむね1週間後には内容や質問者ごとに詳細版としてご覧になれます。ホームページトップ画面の左下「本会議録画中継」「委員会録画中継」をクリックしてください。

The screenshot shows the Sugunami City Council website. On the left sidebar, under '本会議録画中継' (Main Assembly Video Recording), there is a link for '平成27年第1回定例会本会議の模様（詳細版）' (Detailed version of the 1st regular session of the 27th fiscal year main assembly). A red arrow points to this link with the word 'クリック' (Click). On the right side of the page, under '本会議録画中継' (Main Assembly Video Recording), there is a section for '平成27年 第1回定例会' (27th Fiscal Year 1st Regular Session) with a list of dates and topics. A red arrow points to the '2月10日（会期の決定、特別委員会委員長報告、予算編成方針説明）' (February 10th) entry with the word 'クリック' (Click).



# 一般

# 質

# 問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。  
2月13日・16日に11名が質問しました。  
その要旨をお知らせします。

杉並区のスポーツ施策、まちづくりを問う



大熊昌巳 (自民)

**問** スポーツアカデミーを通して指導者発掘を行う中で、義務教育の間に、子供たちが基礎から段階的に一貫した指導を受け、体力増強とスポーツセンスを伸ばすことができるのではないかと。義務教育の間は、様々な運動を行うことで、体力向上やバランスの良い成長が期待できる。各震災救援所にも周知を図る等、置かれることになった。これに合わせた大綱の準備進捗状況は。また、農業公園での取組は。また、農業公園での取組は。また、農業公園での取組は。

防災兼用井戸、成田西三丁目農業公園、学校給食について



井口かづ子 (自民)

**問** 練馬区の農業体験園では、町会と協力し、炊き出しや井戸水の運搬訓練が行われた。区では、防災兼用農業用井戸の周知や活用をどう考えているのか。防災兼用農業用井戸の整備助成をし、PR看板設置、防災訓練への協力をお願いしている。各震災救援所にも周知を図る等、置かれることになった。これに合わせた大綱の準備進捗状況は。また、農業公園での取組は。また、農業公園での取組は。また、農業公園での取組は。

区の考える平和、区の教育、荻外荘について



田中ゆうたろう (美杉)

**問** 戦後70年、区の平和事業の目指すものは。また、取組は。世界の恒久平和実現に向け、平和な社会を次世代に引き継ぎ、核兵器廃絶を目指し、パネル展示等の事業に取り組んできた。4月1日施行の地方教育行政法改正で、総合教育会議が設置されることになった。これに合わせた大綱の準備進捗状況は。また、農業公園での取組は。また、農業公園での取組は。また、農業公園での取組は。

道路の安全対策、防火水槽、子育て支援、困窮者支援について



今井ひろし (自民)

**問** 富士見丘通りは立地条件から子どもと高齢者の往来が多いのに対し、道幅が狭く歩道がない上、交通量が多い。歩行者の安全が脅かされている。取組は。町会や商店街、警察署と協議を重ねて、ポールの設置や路側帯のカラー化等を実施した。また、舗装工事も計画していく。

授業への外部人材の積極活用、障害者スポーツの普及・啓発



岩田いくま (自民)

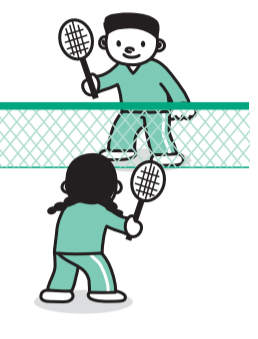
**問** 授業での区民・民間事業者等との協働をさらに進めるべき。土曜授業で地域と連携した体験活動や外部人材を取り入れた学習を展開している。各学校の取組を先進事例として周知し、外部人材との協働による授業を更に充実していく。

高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせるまちづくり!

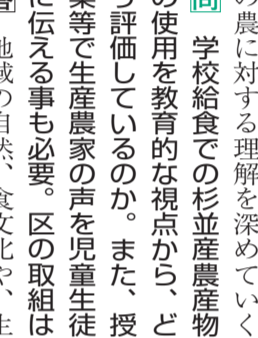


横田政直 (元氣)

**問** 高齢者のニーズに応じた見守り体制を充実すべき。高齢者の思いも考慮し様々な方法で実施している。障がい者も参加できるスポーツを普及すべき。実態把握のための調査を行い、方策を検討することで障害者の社会参加を促進していく。



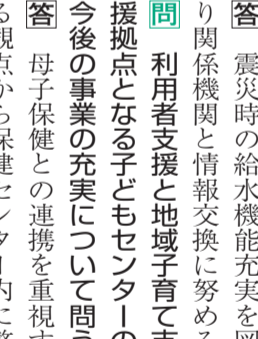
**問** (仮称)荻外荘公園の文化財指定に向けた取組や指定された場合の利点と保存管理計画は。27年度中に国の指定を目指す。指定されると復元・整備に国や都の補助が活用できる。計画は文化庁等と共同し策定する。都市計画高井戸公園整備進捗状況と今後のスケジュールは。5月末の区施設撤去期限後、準備に着手すると聞いている。



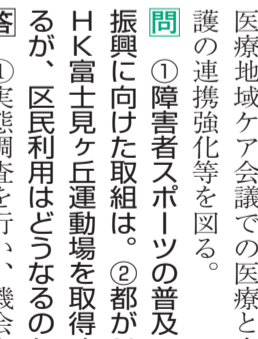
**問** 学校給食での杉並産農産物の使用を教育的な視点から、どう評価しているのか。また、授業等で生産農家の声を児童生徒に伝える事も必要。区の取組は。地域の自然、食文化や、生産者の努力を理解する等、教育効果が期待できる。児童生徒が農園を訪れ、仕事を見学し、お話を伺う等の取組を行っている。



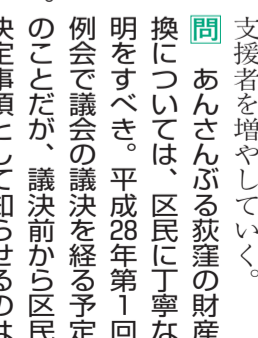
**問** 教科書の採択理由公表は、現状で十分と言えるのか。十分な対応を行っている。角川庭園や大田黒公園のような歴史的・文化的資源と連携した回遊性の向上は、地域全体の活性化や愛着の向上につながる。閑静な住宅街にふさわしい観光のあり方を見出ししていく。



**問** 震災時に最も重要なのは飲料水の確保。施設再編整備計画に基づく整備の中で、飲料水兼用防火水槽の設置を検討すべき。震災時の給水機能充実を図り関係機関と情報交換に努める。利用者支援と地域子育て支援拠点となる子どもセンターの今後の事業の充実について問う。母子保健との連携を重視する観点から保健センター内に整備する。事業の実施時間帯やプログラム内容の拡充を図る。



**問** 4月開始の生活困窮者自立支援事業の準備状況は。中でも子どもの貧困対策となる学習支援事業は、既存事業の拡充を行うとしていくがどう行うのか。連携部署と実務的検討を行っている。不登校等の生活困窮となるリスクが高い子どもも対象の支援等、内容の充実を図る。



**問** 精神疾患のある方の支援者をどのように増やしていくのか。正しい知識の普及を図り、疾病への理解を深めることで、支援者を増やしていく。あんなさんぶる荻窪の財産交換については、区民に丁寧な説明をすべき。平成28年第1回定例会で議会の議決を経る予定とのことだが、議決前から区民に決定事項として知らせるのは、議会を追認機関と見ているのか。計画の進捗状況に応じて説明会を開催し、丁寧に説明する。必要な議案については、適切な時期に議会に諮っている。

**問** (仮称)荻外荘公園の文化財指定に向けた取組や指定された場合の利点と保存管理計画は。27年度中に国の指定を目指す。指定されると復元・整備に国や都の補助が活用できる。計画は文化庁等と共同し策定する。都市計画高井戸公園整備進捗状況と今後のスケジュールは。5月末の区施設撤去期限後、準備に着手すると聞いている。

**問** 学校給食での杉並産農産物の使用を教育的な視点から、どう評価しているのか。また、授業等で生産農家の声を児童生徒に伝える事も必要。区の取組は。地域の自然、食文化や、生産者の努力を理解する等、教育効果が期待できる。児童生徒が農園を訪れ、仕事を見学し、お話を伺う等の取組を行っている。

**問** 教科書の採択理由公表は、現状で十分と言えるのか。十分な対応を行っている。角川庭園や大田黒公園のような歴史的・文化的資源と連携した回遊性の向上は、地域全体の活性化や愛着の向上につながる。閑静な住宅街にふさわしい観光のあり方を見出ししていく。

**問** 震災時に最も重要なのは飲料水の確保。施設再編整備計画に基づく整備の中で、飲料水兼用防火水槽の設置を検討すべき。震災時の給水機能充実を図り関係機関と情報交換に努める。利用者支援と地域子育て支援拠点となる子どもセンターの今後の事業の充実について問う。母子保健との連携を重視する観点から保健センター内に整備する。事業の実施時間帯やプログラム内容の拡充を図る。

**問** 4月開始の生活困窮者自立支援事業の準備状況は。中でも子どもの貧困対策となる学習支援事業は、既存事業の拡充を行うとしていくがどう行うのか。連携部署と実務的検討を行っている。不登校等の生活困窮となるリスクが高い子どもも対象の支援等、内容の充実を図る。

**問** 精神疾患のある方の支援者をどのように増やしていくのか。正しい知識の普及を図り、疾病への理解を深めることで、支援者を増やしていく。あんなさんぶる荻窪の財産交換については、区民に丁寧な説明をすべき。平成28年第1回定例会で議会の議決を経る予定とのことだが、議決前から区民に決定事項として知らせるのは、議会を追認機関と見ているのか。計画の進捗状況に応じて説明会を開催し、丁寧に説明する。必要な議案については、適切な時期に議会に諮っている。

住民主体による通所型・訪問型サービスを実施に位置づけよ



市橋綾子 (生ネ)

問 NPOやボランティア団体が行う通所型サービスや訪問型サービスに対する区の認識は。またそれら団体への意見聴取は。



答 住民主体の様々な活動や地域のサービス資源は、地域包括ケアシステムを支える重要な社会基盤である。地域の実態や活動している団体等から意見やサービス内容を把握し、情報共有や情報発信ができるよう努める。

外環の2は廃止、放5開通による生活道路への車侵入反対



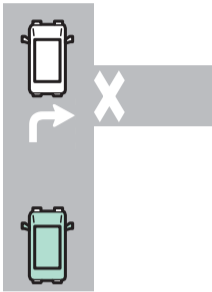
けしば誠一 (無区)

問 共通番号制度の個人番号を知らせる通知カードの交付は、世帯単位となる。DV等の被害者に対する対策は。

答 国から対応マニュアル等は示されていないが、国や都と連携しながら適切な対応を講じる。

問 都市計画提案制度により提出された外環の2一部区間の廃止を求める提案書の取り扱いはどうなるのか。都からの意見を求められた場合のまとめ方は。

答 都で提案に基づく都市計画を定める必要があるかを判断し、必要があれば区に意見照会を行う。都の都市計画審議会に諮った上で判断される。区が意見を提出する際には、区の都市計画審議会に諮って意見をまとめる。



問 杉並清掃工場前の歩道について、工場内に整備する花と緑の回廊に見合うカラー舗装などの要望に、積極的な対応を。

共通番号税制の公平性、子どもが産める環境づくりこそが肝心



奥山たえこ (緑党)

問 特定個人情報保護評価書のパブリックは、どこにどのようなリスクが潜んでおり、それをどう回避するのかの言及がない。

答 業務フロー図を添付するなど工夫をしている。分かりやすく説明に努めていく。

問 共通番号制度により、労働所得、株式売買益、利子所得、金融資産、不動産資産は把握の透明性が高まるのか。

答 所得状況はほぼ確実に捕捉が可能となる。株式売買益や利子所得、金融資産は、告知義務がなく、証券口座まで適用されるかが不明確である。不動産資産は番号制度の適用範囲外である。

問 生活困窮者自立支援制度において、アウトリーチはどのように行うのか。

答 相談員が対象者の元を訪問し、信頼関係を築きながら課題を把握する。



オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて



山本ひろこ (公明)

問 オリンピック・パラリンピック開催での影響と期待されること、開催に向けた意気込みは。

答 杉並の魅力アピールするため、案内表記の多言語化や無料WiFiの整備等観光施策を充実させ、にぎわいを創出することができれば、地域活性化やブランド力向上につながる。

問 区内で行われてきたイベントは、オリンピック憲章の文化プログラムの対象になるのか。

答 ロンドンでは演劇や音楽等多彩なプログラムが実施された。都と情報共有し取組を検討する。

問 2020年までのタイムスケジュールを示し、「自分ができる『おもてなし』」としてアンケート調査を行うなど、ボランティアを募ってはどうか。

答 都等から詳細が示されたら、広報等で伝えるとともに、アンケート調査についても研究する。



保育待機児童の深刻な実態を直視し、認可保育園の増設を



山田耕平 (共産)

問 保育園入園を巡る状況は依然として深刻。更なる認可保育園増設が必要。待機児童保護者の切実な実態への認識を伺う。

答 依然として保育需要は増加傾向で当然の間、続く予測。喫緊の課題である待機児童の解消に向けて粘り強く取り組む。国定義は実態を反映していない点がある。問題提起として、区独自の待機児童数を公表する。

問 0〜2歳児対応の施設が増加。3歳児以降の定員確保を。保護者ニーズの高い認可保育所を核として整備を進め、3歳児以降の受け皿を確保する。

問 民間事業者の保育所整備は「保育の質」を守るよう厳密な選考と行政の指導監督強化を。施設整備を巡るトラブルを防ぐため計画段階から行政の丁寧な関与と住民への十分な説明を。

答 厳正な選定審査と必要な指導監督を実施する。施設整備による騒音、日影や圧迫感、プライバシー問題など様々な観点から住民の理解と協力が必要。必要な対応を図る。



区議会情報公開の運用状況

杉並区議会情報公開条例第22条に基づき、平成26年1月〜12月の運用状況をお知らせします。

情報公開請求件数 3件

Table with 4 columns: 決定状況, 件数, 決定日, 請求内容. Rows include 公開 (0件), 一部公開 (3件), 非公開 (0件).

お知らせ

会派名称変更

「闘う改革の会」から「日本を元気にする会」へ名称変更しました。

陳情の審査結果

【不採択】

◆森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に関する陳情(25陳情第10号)

◆杉並区非常用電源設備の在り方についての陳情(27陳情第3号)

【取り下げ承認】

◆東京都計画地区計画成田東四丁目地区(阿佐ヶ谷住宅)地区計画の案に関する陳情(23陳情第15号)

お悔やみ



大泉時男議員

区議会議員 大泉時男氏(杉並区議会自由民主党)は、平成27年2月4日、逝去されました。73歳。

大泉氏は、平成3年4月の選挙で初当選以来、第59代・73代議長等を歴任し、6期22年にわたって活躍されました。ご冥福をお祈りいたします。

# 意見発表

予算特別委員会の最終日(3月12日)に、各会派の代表から意見の発表がありました。その要旨をお知らせします。  
なお、区議会生活者ネットワーク、無所属区民派、自民と区政クラブ、杉並同志会、日本を元気にする会、共に生きる杉並、美しい杉並、緑の党からも意見の発表がありました。賛否については、8面の議案等の概要と審議結果をご覧ください。

## 子育て、介護者、高齢者が明るく住みやすい未来を願う予算

杉並区議会自由民主党



今井ひろし

わが会派は、予算審議にあたり、①基本構想実現への予算内容となつていくか②区民の課題解消を目的としている予算なのか③区民の自助・共助を促す予算なのか④未来に向けた内容の予算なのか⑤持続可能で健全な財政運営の予算なのか⑥行財政改革に取り組み、将来に向けて安定した予算なのか、との視点から議案を精査し、質疑を重ね、慎重に審査・検証を図り、専門的見地を持ちつつ審議した。その結果、平成27年度一般会計予算案、各特別会計予算案、関連諸議案の全てに賛成する。

「切れ目のない子育て環境づくり」について、4月からの子ども・子育て支援新制度に基づき、様々な事業の展開が図られる。新制度と施設再編整備計画を融合した新たな地域子育て支援拠点の子どもセンターの開設は、利用者支援事業や子育て支援拠点事業として期待する。

「安全・安心を実感できるまちづくり」について、東日本震災以降、耐震化、不燃化、狭い道路拡幅整備事業等様々な施策を展開し、集中豪雨災害対策や防犯カメラの取組も図られているが、まだ途上である。実質的な早期実現を要望する。

「みどりとにぎわいが創出される環境づくり」について、わが会派が復活を強く要望してきたプレミアム付きなみすけ商品券の発行支援を高く評価する。駅周辺の多心型まちづくりでは、地元住民の意向等を最大限活かし、時代に合わせ、産業振興と地域振興の視点を最大限取り入れながら進めることを要望する。



「健康長寿の推進」について、

## 基本構想実現へ力強いステップで、希望の曙光を、安心を!

杉並区議会公明党



島田敏光

わが会派は、区民の不安を安心に、また、希望の曙光が見えるようにと、政策提言を重ね、予算特別委員会に臨んだ。予算審査にあたり①基本構想実現のため、ローリングされた総合計画が確実に反映されているか②区立施設再編整備計画第一次実施プランの進捗状況はどうか③超高齢社会の諸課題に対応する施策展開が図られているか④次世代育成政策がより充実しているか⑤震災対策、水害対策等、防率的な行財政運営が期待できるか⑦消費税増税分が確実に目的に沿ったものであるか⑧7つの視点で精査した。これらの視点に沿って、会派の意見を述べる。

①基本構想の目標に沿って、街角防犯カメラの増設、小学校通学路防犯カメラの設置の際は、関係諸機関で情報を共有し、効率よく地域をカバーできる取組を要望する。魅力あるまちについて、観光促進等新しい視点の施策を評価する。環境について、地域の小学生との協働である「みんなの夢水路」が環境教育に資すると期待する。健康長寿と支え合いについて、ワンコインがん検診や検診の質の向上等の総合的ながん対策を評価する。

②施設再編整備計画は、説明会を重ね周知に努めたが、正しい理解に基づかない批判や意見も多い。個別の施設についても地域との協議に際し、より理解が深められるよう工夫すること。③政府が1月にまとめた「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」と区の認知症対策は整合性がとれており、これからの認知症対策充実を期待する。

④次世代育成基金が、子どもたちの夢を育むための民間提案事業への助成に活用されることとなった。災害時要援護者支援対策の「地域のたすけあいネットワーク」への登録を促すと同時に、福祉支援所の拡充を望む。第二は、次世代を担う子どもたちへ積極的に支援する取組を進めている点である。親の経済力の差で、教育機会の不平等を招いてはならない。そうした観点から、小中連携教育やキャリア教育、就学前教育等の取組を評価する。次世代育成基金で、家計の余力がなければ行き届かない、国内外の交流やスポーツ、文化・芸術等の事業への参加を支援することは、大変有益であり評価する。より多くの子どもたちが事業に参加できるように工夫を求め、待機児童対策は、

平成27年度一般会計予算案、各特別会計予算案、関連諸議案の全てに賛成する。



## 計画事業の予算化で10年ビジョンの早期実現を望む

民主・市民クラブ



増田裕一

認可保育所を核とした整備を進めつつも、認可外保育施設の質の向上と安定的な運営を引き続き支援してほしい。人口動向を見極め、効果的な保育の受け皿づくりに取り組むよう要望する。

第一は、東日本震災を教訓として、不燃化や耐震改修の促進、狭い道路拡幅の推進等、防災まちづくりに注力している点である。施策の最優先として取り組んでほしい。震災救援所訓練は、より現実感のある訓練となるよう、震災救援所運営連絡会に積極的に指導、助言をすべく望む。また、区立小中学校が震災救援所として備えるべき機能を検討し、今後の改築に活かしてほしい。東日本震災では、高齢者や障害者等災害弱者に対する支援のあり方が課題となった。災害時要援護者支援対策の「地域のたすけあいネットワーク」への登録を促すと同時に、福祉支援所の拡充を望む。

第二は、次世代を担う子どもたちへ積極的に支援する取組を進めている点である。親の経済力の差で、教育機会の不平等を招いてはならない。そうした観点から、小中連携教育やキャリア教育、就学前教育等の取組を評価する。次世代育成基金で、家計の余力がなければ行き届かない、国内外の交流やスポーツ、文化・芸術等の事業への参加を支援することは、大変有益であり評価する。より多くの子どもたちが事業に参加できるように工夫を求め、待機児童対策は、

平成27年度一般会計予算案、各特別会計予算案、関連諸議案の全てに賛成する。

特に重視する事項を要望した。前向きな検討をお願いする。





わが党区議団は、予算特別委員会に当たり、区民の生の声を背景に、また、安倍自公政権の暴走政治に対して、区民生活の防波堤となって自治体運営されているかを観点に質疑を行った。党区議団が行った区民アンケートには、「生活が苦しくなった」との切実な声が詰まっている。こうした実態は、国の政治が起因するとは言うまでもない。年金収入月20万円の後期高齢者夫婦の年間の医療・介護保険料、住民税、所得税の合計は30万1000円。そこに15万円の消費税が課される。年収400万円の現役世代で子ども1人の家庭の医療・介護・年金保険料、住民税、所得税の合計は94万円。消費税が19万円で合計113万円となり、まさに重税国家だ。区長にこの現状をどう見るのか問うと、一面的なデータであり、貯蓄や財産がある場合も考えられると答弁。予算編成方針を見ても、日本の景気動向や世界経済の不透明さは語るが、区民生活についての記述がない。国の悪政を見守るばかりで区民生活の実態を直視せず、国政の在り方に異を唱えないことは、重大

施設削減や使用料値上げをやめ、豊かな  
財政力を区民生活へ

日本共産党杉並区議団



原田あきら

な問題であり認められない。

党区議団は、認可保育園や特養の増設、国保料・介護保険料の値下げ、区立施設の維持発展、施設使用料の値上げ中止等、区民から切実に求められている施策を予算特別委員会で要望してきた。今回、多くの会派が区民生活への支援を呼び掛けている。区は、こうした行政需要を議会の質疑を通して認識しながら、550億円もの財政のダムづくりや経常収支比率80%の目標に執着している。「生活が苦しい」と訴える区民の現状からかけ離れており、認められない。

これまで近隣住区の考え方に基つき、区内を7つの地域と46地区に分け、区立施設を等間隔に配置してきた。駅周辺のまちづくりを切り替えることで、駅周辺でない地域から区立施設が削減されれば、住宅都市杉並の魅力は失われる。区長が言う「少子高齢化へのチャレンジ」は事実上、少子高齢化に合わせて施設数を削減し、施設利用料を値上げし、区民サービスを低下させるもので、認められない。この一・二年の区政を総括すると、認可保育園や特養の拡充等積極的な施策も見られる。この道こそ区民とともに歩むべきであり、区立施設再編整備計画や使用料の見直し、区民生活無視の財政運営等は見直すべき。以上から、党区議団は、平成27年度一般会計予算案、国民健康保険事業会計予算案、介護保険事業会計予算案、後期高齢者医療事業会計予算案に反対する。

## 平成27年度予算の概要

### 「少子高齢社会」へのチャレンジ予算

平成27年第1回定例会で可決した、平成27年度予算の概要をお知らせします。

#### ◇各会計当初予算規模

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成26年度	差引増減額	前年比 (%)
一般会計	164,972,000	161,150,000	3,822,000	102.4
国民健康保険事業会計	63,657,449	53,473,597	10,183,852	119.0
介護保険事業会計	37,181,702	37,861,634	△679,932	98.2
後期高齢者医療事業会計	12,718,269	12,517,223	201,046	101.6
中小企業勤労者福祉事業会計	132,902	154,156	△21,254	86.2
合計	278,662,322	265,156,610	13,505,712	105.1

#### □一般会計 1,649億7,200万円 (前年度比38億2,200万円、2.4%の増)

増となった要因は、投資事業や臨時事業の減はあるものの、待機児童対策の推進に伴う民営保育園等に対する保育委託や生活保護費などの既定事業の増等によるものです。

特別区民税は、納税義務者の増や景気回復の兆しが見え始めたことによる区民所得の微増などを見込み、増となりました。その他、特別区財政交付金や地方消費税交付金などの増、利子割交付金や自動車取得税交付金などの減を見込み、公園等の整備や保育施設の整備など4事業に係る特別区債(建設債)の発行や施設整備基金を活用し、予算を編成しました。

#### □国民健康保険事業会計 636億5,744万9千円 (前年度比101億8,385万2千円、19.0%の増)

一人当たりの医療費の増加による保険給付費の増、後期高齢者支援金の増、保険財政共同安定化事業の対象医療費の拡大による共同事業拠出金の増などを見込みました。

#### □介護保険事業会計 371億8,170万2千円 (前年度比△6億7,993万2千円、1.8%の減)

第6期介護保険事業計画に基づく1年目となります。保険料の基準月額5,700円となり、第5期に比べ500円の増となります。要介護等認定者の増を見込んだものの、介護報酬の引下げ等により、会計規模は1.8%の減となりました。

#### □後期高齢者医療事業会計 127億1,826万9千円 (前年度比2億104万6千円、1.6%の増)

75歳以上の高齢者(65歳～74歳で一定の障害があり、東京都後期高齢者医療広域連合の認定を受けた者を含む。)を対象とした医療制度で、区は制度の実施主体である東京都後期高齢者医療広域連合への納付金及び区が実施する保健事業にかかる経費などを計上しています。一人当たりの医療費の増を見込みました。

#### □中小企業勤労者福祉事業会計 1億3,290万2千円 (前年度比△2,125万4千円、13.8%の減)

財団法人杉並区勤労者福祉協会の解散に伴い、事業を引き継ぐために平成24年度に設置しました。中小企業で働く勤労者の福祉の増進を図り、中小企業の振興に寄与することを目的としています。

本紙を録音した「声の区議会だより」（カセットテープ）、または点字版「区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしています。区内在住の視覚障害1、2級の方と特に希望される方が対象ですので、お知り合いの方にお知らせください（お申し込みは区議会事務局へ）。

## 議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 平成27年3月13日議決（※は2月17日議決）

件名	概要	自民	公明	民社	共産	生ネ	無区	自ク	同志	元気	共生	美杉	緑党	結果
杉並区情報公開条例及び杉並区個人情報保護条例の一部を改正する条例	独立行政法人通則法の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区行政手続条例の一部を改正する条例	処分等の求め及び行政指導の中止等の求めの手段の設定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区職員の配偶者同行休業に関する条例	配偶者同行休業に関する必要な事項の設定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る基準に関する条例	介護保険法の一部改正に伴う地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る基準の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準に関する条例及び杉並区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例の一部を改正する条例	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準の改正等	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例	介護保険法の一部改正に伴う指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区建築審査会条例の一部を改正する条例	マンションの建替えの円滑化等に関する法律の一部改正等に伴う建築審査会の招集に係る規定の改正等	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	特別職報酬等審議会の審議対象への教育長及び常勤の監査委員の給料の額の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区職員の倫理の保持及び公益通報に関する条例等の一部を改正する条例	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	取締・指導等業務手当及び放射線業務手当の廃止	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公益的法人等への杉並区職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例	職員を派遣することができる団体への公益社団法人杉並区シルバー人材センター及び公益社団法人杉並区成年後見センターの追加	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
杉並区行政財産使用料条例の一部を改正する条例	消費者センターの教室の使用料の改定等	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	可決
杉並区産業融資資金条例の一部を改正する条例	融資をあっせんする資金の種類及び限度額等の改正等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例の一部を改正する条例	指定管理者に係る規定の削除	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例の一部を改正する条例	ゆうゆう阿佐谷館の位置の変更等	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
杉並区介護保険条例の一部を改正する条例	保険料率の改定等	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
杉並区立子供園条例の一部を改正する条例	保育料の改定等	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
杉並区保育料等に関する条例	保育料等に関する必要な事項の設定	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例	高度管理医療機器等販売業または貸与業許可申請手数料等の設定等	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
杉並区総合的な住まいのあり方に関する審議会条例	杉並区総合的な住まいのあり方に関する審議会の設置等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
岩崎橋架替工事の請負契約の締結について	契約金額：1億6,902万円 契約の相手方：マルト・丸満建設共同企業体	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
放射能対策費用に係る損害賠償請求に関する和解（第二次）について	東京電力株式会社は、原子力発電所の事故による放射能対策のために、平成23年度に支出した空間放射線量測定に伴う検査費用並びに学校給食等の検査に要した費用として請求した賠償金829万6,833円のうち807万3,299円を区に支払う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度杉並区一般会計補正予算（第5号）	国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に伴う補正予算で創設された交付金に対応する事業や緊急を要する事業、平成26年度の精算的要素を含む、41億9,803万1千円の補正のほか、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
平成26年度杉並区国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	国民健康保険料等の歳入及び保険給付費等の歳出の実績に伴い、4億9,283万2千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度杉並区介護保険事業会計補正予算（第1号）	繰越金等の歳入及び国庫支出金等返還金等の歳出の実績に伴い、11億7,139万6千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度杉並区後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	繰越金等の歳入及び諸支出金の歳出の実績に伴い、4億4,748万6千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度杉並区中小企業勤労者福祉事業会計補正予算（第1号）	繰越金の歳入実績に伴い、147万3千円の減額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度杉並区一般会計予算	予算総額1,649億7,200万円	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	可決
平成27年度杉並区国民健康保険事業会計予算	予算総額636億5,744万9千円	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	可決
平成27年度杉並区介護保険事業会計予算	予算総額371億8,170万2千円	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	可決
平成27年度杉並区後期高齢者医療事業会計予算	予算総額127億1,826万9千円	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	可決
平成27年度杉並区中小企業勤労者福祉事業会計予算	予算総額1億3,290万2千円	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
杉並区立杉並芸術会館の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク 指定の期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦について ※	西脇世津子（にしわき せつこ）氏を候補者として推薦	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区国民健康保険条例の一部を改正する条例	保険料率の改定等	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
杉並区国民健康保険条例の一部を改正する条例	一般被保険者に係る基礎賦課総額の特例の恒久化	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区教育委員会教育長の任命の同意について	井出隆安（いで たかやす）氏の任命に同意	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	同意
地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について ※	5件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
議員提出議案	杉並区議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案一覧」でご覧になれます。

《会派名・構成人数》（平成27年3月13日現在）

自民/杉並区議会自由民主党（11人）、公明/杉並区議会公明党（8人）、民社/民主・社民クラブ（7人）、共産/日本共産党杉並区議団（7人）、生ネ/区議会生活者ネットワーク（3人）、無区/無所属区民派（2人）、自ク/自民と区政クラブ（2人）、同志/杉並同志会（1人）、元気/日本を元気にする会（1人）、共生/共に生きる杉並（1人）、美杉/美しい杉並（1人）、緑党/緑の党（1人）